

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課	
1 いのち輝く やさしいまち	1 ひとにやさしく、元気に暮らせるまち	(1)地域福祉の推進	①地域福祉活動の担い手の育成	1 地域福祉に関する意識啓発	・町社会福祉協議会との連携 ・社協だより、福祉大会、キャラバン事業の実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課	
					決算額 (1,045) 千円	予算額 (1,143) 千円			
				2 住民活動に関する学習機会の提供	・町社会福祉協議会等との連携 ・福祉出前講座、ふくし体験教室、ボランティアスクールの実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課	
					決算額 (112) 千円	予算額 (123) 千円			
				3 ボランティア活動の促進	・町社会福祉協議会等との連携 ・ボランティア講習会、デビュー講座の実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課	
					決算額 (90) 千円	予算額 (93) 千円			
				4 地域福祉活動団体の育成・支援	・町社会福祉協議会への補助及び民生委員協議会への負担金支出	・社会福祉協議会の活動支援と連携が必要 ・民生委員が積極的に活動できるよう研修の充実	・継続	福祉健康課	
					決算額 12,920 千円	予算額 17,725 千円			
				②見守りと支え合いの地域づくり	5 小地域におけるネットワークの構築	・町社会福祉協議会等の活動として、民生委員やボランティアなどが近くの集会議場でレクリエーション等を実施	・小地域での世代間交流やサロン活動の支援	・継続	福祉健康課
						決算額 (100) 千円	予算額 (130) 千円		
					6 地域における見守り・交流活動の促進	・町社会福祉協議会等の活動として、独居老人世帯等に配食サービス、昼食会などを開催	・小地域近隣見守りグループの設置検討	・継続	福祉健康課
						決算額 (485) 千円	予算額 (534) 千円		
7 福祉サービス情報拠点の整備	・交流ができる地域福祉活動の拠点を確保するため、調査・研究を実施	・継続して実施	・継続		福祉健康課				
	決算額 千円	予算額 千円							

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
1 いのち輝く やさしいまち	1 ひとにやさしく、元気に暮らせるまち	(1)地域福祉の推進	②見守りと支え合いの地域づくり	8 災害時における要援護者支援体制の構築	・災害時要援護者を登録し避難協力者を選任 ・災害時要援護者支援システムの導入	・要援護者名簿の登録、作成、情報共有等の在り方を検討	・要援護者の避難、支援方法の検討	総務課 福祉健康課
				9 社会福祉協議会との連携による地域福祉の推進	・ボランティア養成講座などの体験機会の提供	・社会福祉協議会のボランティアセンターと連携し、地域福祉を推進する	・継続	福祉健康課
			③自立を支援する環境の整備	10 福祉サービスに関する情報の提供	・広報、町HP等での情報提供 ・民生委員活動を通じた地域住民との交流	・安心して利用できるよう、サービス事業者と連携していく	・継続	福祉健康課
				11 成年後見制度の活用促進	・成年後見制度利用に対する支援制度を整備	・障害者自立支援法地域生活支援事業として、成年後見人制度の活用促進のため、必要経費の負担等支援する	・継続	福祉健康課
				12 バリアフリー・ユニバーサルデザイン化の推進	・準特定路のバリアフリー化を検討 ・高齢者や障がい者の自立生活の維持向上を図るため、住宅改善整備費用を一部助成	・継続して実施	・継続	福祉健康課 建設課
				13 健康相談・健康教育の充実	・重点健康相談、総合健康相談を実施 ・集団健康教育を実施	・健康相談、健康教育の継続 ・腎臓病、糖尿病予防教室の実施 ・はつらつ健診後に生活習慣病予防教室の実施	・継続	福祉健康課
		(2)健康づくりの推進	①健康づくりに取り組む環境の整備	14各年齢に応じた健(検)診の実施	・フレッシュ健診、はつらつ健診の実施 ・胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん検診、子宮がん検診、笠松町国民健康保険加入者の特定健診の実施	・継続して実施 ・町防災行政無線や町広報紙、ポスター等による啓発の実施	・継続	保険医療課 福祉健康課
				決算額	37,754 千円	予算額	46,679 千円	

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課				
1 いのち輝く やさしいまち	1 ひとにやさしく、元気に暮らせるまち	(2)健康づくりの推進	①健康づくりに取り組む環境の整備	15 健診結果に基づいた事後指導体制の拡充	・フレッシュ健診事後指導を3会場にて実施 ・はつらつ健診事後指導を実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課				
					決算額	93 千円	予算額	93 千円				
				16 感染症予防対策の推進	・結核検診の実施 ・予防接種事業の実施 ・手指消毒の励行や、予防についての普及啓発を広報等で実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課				
					決算額	55,609 千円	予算額	61,852 千円				
						②生涯を通じた健康づくり	17 健康づくりに関する活動団体の育成・支援	・食生活改善連絡協議会への補助金の支出 ・会員に対しての健康教育等の実施 ・伴健康づくり事業、体力測定事業への支援	・会員に対する健康教育の実施、また、会員強化のために栄養教室等の実施し、会員を養成する ・伴健康づくり事業、体力測定事業への支援	・継続	福祉健康課 福祉会館	
							決算額	697 千円	予算額	800 千円		
			18 健康づくりの場や機会等の環境整備の充実	・各種健(検)診、健康相談、健康教育等の実施	・継続して実施		・継続	福祉健康課				
				決算額	千円		予算額	千円				
							19 心の健康づくりの推進	・精神障がい者の集う場としてのグループワークやこころの相談、就労体験、電話相談の実施 ・関係機関(県保健所・地域活動支援センター等)と連携協力し心の健康づくりを推進する ・自殺予防対策としてパンフレットの全戸配布	・グループワークやこころの相談、就労体験、電話相談の実施 ・関係機関(県保健所・地域活動支援センター等)と連携協力し心の健康づくりを推進する ・自殺予防対策としてパンフレットの全戸配布	・継続	福祉健康課	
							決算額	343 千円	予算額	40 千円		
			20 食育の推進	・乳幼児や児童、その保護者、成人、高齢者等に対し、健診や相談、教育の場において、食育に関する知識の普及啓発、実践を実施	・食育に関する知識の普及啓発、実践を実施 ・広報紙に食の健康に関する記事を掲載	・食育に関する知識の普及啓発、実践を実施 ・食育に関する知識の普及啓発、実践を実施	福祉健康課 学校給食センター					
				決算額	千円	予算額	千円					
21 かかりつけ医づくりの促進	・健診や相談、教育の場において、かかりつけ医の促進のための普及啓発を実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課								
	決算額	千円	予算額	千円								

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課		
1 いのち輝く やさしいまち	2 高齢者や 障がいのある 人が安心して 暮らし続けら れるまち	(1)高齢者福 祉の推進	①高齢者の 生きがいく り	22 ボランティア や学習活動等へ の参加促進	・ボランティア養成講座「あなたがたより」を 実施、シニアカレッジ「生き生き塾」を実施	・継続して実施	・継続	教育文化課		
					決算額	49 千円	予算額	49 千円		
				23 老人クラブ等 の活動団体への 活動支援	・老人クラブ事業への支援 ・老人レクリエーション大会、老人福祉大会 の開催	・継続して実施	・継続	福祉会館		
					決算額	2,406 千円	予算額	2,549 千円		
				24 高齢者が相互 に助け合うシル バーボランティア 組織の育成	・ボランティア組織の育成を模索	・継続して実施	・継続	福祉会館		
					決算額	千円	予算額	千円		
			②高齢者の 生活を支える 支援体制の 整備	25 地域包括支援 センターを中心と した地域包括ケ ア体制の整備	・ケアマネージャーの資質の向上、医療機 関からの在宅復帰支援など、一連の福祉、 保健、医療サービスについて連携できる体 制づくりの実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課		
					決算額	17,318 千円	予算額	21,839 千円		
				26 サービス事業 者との連携強化	・担当圏域内の居宅サービス事業所を訪 問し、情報提供や相談、指導を実施	・介護給付の適正化システムを導入し、確 認及び指導を行う	・継続	福祉健康課		
					決算額	千円	予算額	2,299 千円		
				27 高齢者福祉 サービスの提供	・要介護の方へのおむつ支給 ・住宅改修にともなうコーディネートの支援 ・福祉電話や緊急通報装置の設置 ・浴室の開設日を拡充	・現行制度の維持 ・介護保険認定外の要支援者へのサービ ス提供の体制づくり	・継続	福祉健康課 福祉会館		
					決算額	3,600 千円	予算額	6,209 千円		
28 高齢者に関す る相談や情報提 供	・介護保険その他の保健福祉サービスに 関する相談、権利擁護に関する相談、高齢 者虐待に関する相談の実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課						
	決算額	千円	予算額	千円						

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課		
1 いのち輝く やさしいまち	2 高齢者や 障がいのある 人が安心して 暮らし続けら れるまち	(1)高齢者福 祉の推進	③介護保険 の適正な運 営	29 介護保険や サービスに関す る情報提供	・パンフレットの作成や町のホームページな どの広報、福祉関係人材の活用による制 度の周知を実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課		
					決算額	230 千円	予算額	344 千円		
				30 介護予防事業 の推進	・介護予防普及啓発事業(転倒予防教室・ふれ あいひろばなど)、地域介護予防活動支援事業 (健康教室など)、通所型介護予防事業(筋運 塾)及び二次予防事業対象者把握事業を実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課		
					決算額	2,665 千円	予算額	4,344 千円		
				31 介護保険事業 計画に基づいた 適切なサービス 提供体制の整備	・第5期介護保険計画を策定 ・基盤整備、地域密着型サービスの充実	・地域密着型サービスの適正な運営のため の支援及び指導	・継続	福祉健康課		
				決算額	千円	予算額	千円			
				32 質の高いサー ビス提供に向け た支援	・ケアマネジャーの相談、支援を行い、ケア マネジャーの資質向上による適切なケアプ ランの作成の支援を実施	・継続して実施	・継続	福祉健康課		
				決算額	千円	予算額	千円			
			(2)障がいの ある人の福 祉の推進	①障がいの 有無に関わり なく安心して 暮らせる環境 づくり	33 障がいや障が いのある人に対 する理解の促進	・社会福祉協議会にて福祉出前講座を開 催 ・保育所にて障がい児との交流保育を通 じ、障がいに対する理解と認識を深め人格 形成に努めた	・地域や学校・保育所などで相互交流の機 会を大切にし、啓発を行う	・継続	福祉健康課	
					決算額	21,169 千円	予算額	35,142 千円		
					34 障がいの早期 発見・早期療育 の推進	・子どもの発達や障がいに関する相談の実 施 ・言語発達に遅れのある子どもに対し、1歳 から早期の療育を実施	・現行事業に加え、NPO事業者の進出によ り新たな社会資源ができるなど児童の健全 育成や保護者の負担軽減を図る	・継続	福祉健康課	
					決算額	千円	予算額	千円		
		②障がいの ある人の生 活を支援する サービスの充 実	35 障がいのある 人に対する相談・ 支援体制の整備	・指定事業所に相談所を設置	・身近で専門的知識を持つ事業所で相談で きる体制に努める	・継続	福祉健康課			
		決算額	4,411 千円	予算額	4,343 千円					

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
1 いのち輝くやさしいまち	2 高齢者や障がいのある人が安心して暮らし続けられるまち	(2)障がいのある人の福祉の推進	②障がいのある人の生活を支援するサービスの充実	36 障がい特性に応じたサービス利用への支援	・審査会等により障がい程度区分の判定を行い介護給付を実施 決算額 148,093 千円	・継続して実施 予算額 162,357 千円	・継続	福祉健康課
				37 自立した生活に向けた生活支援サービスの提供	・笠松町にて支給決定を行った障がい児が在宅系障害福祉サービスなどを利用した際の給付費等を支給 決算額 33,554 千円	・継続して実施 予算額 55,862 千円	・継続	福祉健康課
			③障がいのある人の社会参加の促進	38 障がいのある人の雇用の推進	・授産施設への町単独の補助及び自立支援法に基づく訓練等給付費の支給による就労移行の支援の実施 ・町職員 H25.6.1現在 2.33% 決算額 14,299 千円	・授産施設の在り方の検討 ・自立支援法に基づく体制整備の実施 ・身体障害者以外の障がい者雇用について調査研究 予算額 14,955 千円	・継続	総務課 福祉健康課
				39 文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進	・各種町民スポーツ大会においては、障がいの方も参加できるよう、参加資格の設置 ・中学生の障がいの方への大会参加の交通費の補助支援 決算額 11 千円	・関係機関との連携のもとPRを実施 予算額 38 千円	・継続	福祉健康課 教育文化課
			40 障がい者団体への活動支援	・県身体障害者福祉協会笠松町分会へ補助を行うことにより、参加の障がい者が生き甲斐を持って社会活動を行うことができるよう支援を実施 決算額 50 千円	・継続して実施 予算額 50 千円	・継続	福祉健康課	
				41 母子保健事業の推進	・妊婦健診、乳児健診などの発達の節目の健診、育児相談の実施 ・特定不妊治療費等の助成・新生児聴覚検査費助成等の実施 決算額 28,588 千円	・健やかな妊娠、出産、健全な乳幼児の成長・発達等母子の健康管理を継続して実施 予算額 31,369 千円	・継続	福祉健康課
	42 学校保健との連携による一貫した健康管理体制の推進	・生活習慣病予防事業で健康教育・健康相談を実施 ・血液検査、事後指導の実施 決算額 570 千円	・正しい知識の普及啓発のため事後指導の実施 ・BC判定者への個別指導等の呼びかけ 予算額 580 千円		・継続	福祉健康課 教育文化課		
		3 みんなで子どもを見守り、育てるまち	(1)子育て支援の推進	①子どもや母親の健康の確保・増進				

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
1 いのち輝く やさしいまち	3 みんなで子 どもを見守 り、育てるま ち	(1)子育て支 援の推進	①子どもや母 親の健康の 確保・増進	43 医療費助成の 継続的な実施	・乳幼児医療費助成については、県補助対 象事業として未就学児を対象に実施 ・町単独事業として小学1年生から中学3 年生までを対象に実施	・出生届や転入届け時に乳幼児医療費助 成の制度周知に努める	・継続	保険医療課
					決算額 106,985 千円	予算額 109,539 千円		
			②保育・子育 て支援サー ビスの充実	44 子育てに関す る相談・支援の 充実	・育児相談の実施(年47回) ・はみがき教室、プレパマクラブの実施 ・電話相談を随時実施 ・病児・病後児保育事業実施施設の拡充	・継続して実施	・継続	福祉健康課 子育て支援 センター
					決算額 471 千円	予算額 663 千円		
				45 各種保育サー ビスの充実	・通常保育、延長保育、障がい児保育、広 域入所、一時預かり、通所バスへの補助制 度、施設改修など支援体制の充実	・保育内容については継続	・継続	福祉健康課
					決算額 570,568 千円	予算額 396,152 千円		
			46 放課後児童ク ラブの充実	・小学校1年生から3年生までの児童を対 象に平日の放課後や長期休業期間中に各 小学校で開設 ・利用料の口座振替を実施	・子育て家庭の保護者が安心して働ける環 境整備 ・夏季休業日は4年生まで受入 ・学校休業日は7:30から実施	・継続	子育て 支援センター	
				決算額 26,157 千円	予算額 30,829 千円			
			③地域にお ける子育て支 援の充実	47 子育て支援セ ンターの機能充 実	・子育てサロン等、子育て支援事業の拠点 として運営を実施	・相談窓口等の充実 ・子育て支援新制度管理システムに関する ニーズ調査	・継続 ・事業計画の策定	子育て 支援センター
					決算額 505 千円	予算額 3,195 千円		
				48 子どもや保護 者の交流の場づ くり	・親子遊び、リトミック講座、人形劇の実施	・広報、行政無線放送、ホームページの充 実	・継続	子育て 支援センター
					決算額 172 千円	予算額 306 千円		
49 地域における 子育て支援機能 の強化	・ファミリー・サポート・センター広域事業の 実施	・広報、ホームページの充実 ・研修会の開催 ・会員の拡充	・継続	子育て 支援センター				
	決算額 480 千円	予算額 480 千円						

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
1 いのち輝くやさしいまち	3 みんなで子どもを見守り、育てるまち	(1)子育て支援の推進	④支援が必要な子育て家庭への支援の充実	50 ひとり親家庭への支援の充実	・児童扶養手当の支給 ・医療費の自己負担分の助成	・町広報やホームページ等により周知、啓発を行う	・継続	保険医療課 福祉健康課
				決算額	18,039 千円	予算額	20,726 千円	
				51 児童虐待等の防止と早期発見・早期対応	・代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議により、要保護児童への総合支援を実施 ・児童虐待防止対策緊急強化事業補助金で虐待防止啓発を実施	・早期発見・早期対応のため関係機関との連携強化を実施	・継続	教育文化課 子育て支援センター
				決算額	602 千円	予算額	124 千円	
				52 障がいのある子どもへの相談・支援の充実	・「ことばの教室」の運営を支援	・身近な地域での療育相談の実現 ・ことばの教室、教育委員会等との連携を強化	・継続	福祉健康課
				決算額	8,827 千円	予算額	13,934 千円	
	4 一人ひとりを大切にするまち	(1)人権尊重社会の実現	①道徳のまちづくりへ向けた意識啓発	53 道徳心やマナー向上に向けた意識啓発	・笠松推進会議、道徳のまち笠松のつどいの開催 ・あいさつ絵本、ちょっといい話の発行	・参加人数増、活動のひろがり、取り組み方や連携のあり方を検討	・継続	教育文化課
				決算額	3,260 千円	予算額	3,720 千円	
				54 人権意識を高める学習機会の提供	・青少年育成町民会議による少年の主張大会の開催	・継続して実施	・継続	教育文化課
				決算額	60 千円	予算額	67 千円	
55 人権教育指導者や町職員の意識の向上	・各種人権同和に関する研修会の参加	・継続して実施	・継続	福祉健康課 教育文化課				
決算額	千円	予算額	千円					
②男女共同参画の推進	56 男女共同参画に関する意識啓発	・広報かさまつに「男女共同参画のすすめ」標語を掲載 ・推進強調月間(11月)に無線定時放送で啓発	・第2次男女共同参画プラン策定	・プランに基づく事業の実施	総務課			
決算額	千円	予算額	103 千円					

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
1 いのち輝く やさしいまち	4 一人ひとりを 大切にす るまち	(1)人権尊重 社会の実現	②男女共同 参画の推進	57 政策・方針決 定の場への女性 の積極登用	・各種審議会等における女性委員の割合 決算額 千円	・各種審議会等における女性の割合 H25.4.1現在 26.5% 予算額 千円	・第2次男女共同参画プラン に基づき、積極的な登用に 努める	総務課
				58 事業所等にお ける仕事と家庭 生活の調和の推 進	・広報かさまつに「男女共同参画のすすめ」 標語を掲載 ・推進強調月間(11月)に無線定時放送で 啓発 決算額 千円	・第2次男女共同参画プラン策定 予算額 千円	・プランに基づく事業の実施	総務課
					59 DVや虐待等 のあらゆる暴力 の根絶	・DV相談などは女性相談センターへ繋ぎ、 助言や情報を提供 ・青少年の非行・被害防止全国強調月間 では街頭啓発活動を実施 ・要保護児童への総合支援 決算額 26 千円	・障害者虐待防止法の施行への対応のた め居室確保等の事業の検討 予算額 274 千円	・継続
				60 人権に関する 各種相談体制の 整備		・国、県等と連携した人権相談、啓発活動 を実施 ・町民合同相談の実施 決算額 1,080 千円	・県補助制度による人権啓発講演会等を開 催 ・相談等は継続していく 予算額 583 千円	・国県補助制度を利用しな がら継続

※ ()内数値 … 笠松町社会福祉協議会 決算・予算額

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
2 生涯にわたって楽しく学べるまち	1 まちの未来を担う子ども・若者をはぐくむまち	(1)幼児教育・学校教育の充実	①幼児教育の充実	61 幼稚園との連携の強化	・国、県の動向を見ながら調査、研究していく	・継続して実施	・継続	福祉健康課
					決算額 千円	予算額 千円		
				62 幼保一元化に関する研究と検討	・国、県の動向を見ながら調査、研究していく	・継続して実施	・継続	福祉健康課
					決算額 千円	予算額 千円		
				63 幼児期を支える家庭教育への支援	・ロビーコンサート1回、福祉健康課との共催講座1回、親子で学ぶ講演会を開催	・継続して実施	・継続	教育文化課
					決算額 56千円	予算額 76千円		
			②安心して学べる教育環境の整備	64 学校施設の耐震化および老朽施設改修の推進	・耐震化できていない笠松中学校屋内運動場は平成25年改築完成予定 ・各学校の老朽化は、大規模改修ではなく補修により対応	・笠松中学校屋内運動場改築工事	・補修と同時に、非構造部材の耐震化を計画的に実施	教育文化課
					決算額 47,493千円	予算額 1,431,817千円		
				65 学校給食センター設備の充実	・設備を良好に維持するため、保守点検や改善を実施	・継続して実施	・施設や備品が老朽化してきているので直しを図る	学校給食センター
					決算額 1,358千円	予算額 1,440千円		
				66 地域との連携・協力による教育環境基盤の充実	・連れ去り防止や不審者対応避難訓練を実施 ・岐阜県警による防犯教育の実施	・継続して実施	・継続	教育文化課
					決算額 千円	予算額 千円		
67 児童生徒の安全の確保	・町で委託する笠松駅前ロータリーにおける安全確保業務 ・地域の見守り隊による登下校時の安全確保の実施 ・あんしんメールによる不審者情報の共有	・継続して実施	・継続	教育文化課				
	決算額 1,295千円	予算額 1,295千円						

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課	
2 生涯にわたって楽しく学べるまち	1 まちの未来を担う子ども・若者をはぐくむまち	(1)幼児教育・学校教育の充実	③「生きる力」の育成	68 確かな学力の定着	・各小中学校でプリント学習を実施 ・中学校の数学、英語において少人数指導を一部実施	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	927 千円	予算額	927 千円		
				69 道徳や人権教育の推進	・あいさつ運動、ボランティア活動の積極的な実施	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	千円	予算額	千円		
				70 健康で健やかな体づくりの推進	・児童生徒の発達段階に応じたきめ細かい食育の指導 ・食べ物をとおしての健康な体づくりの推進	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	千円	予算額	千円		
				71 夢を描くキャリア教育の推進	・キャリアステーションという総合学習の実施 ・町事業補助金として進路指導補助金を設置	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	30 千円	予算額	72 千円		
				72 情報・環境・国際理解教育の推進	・デジタル教材、情報モラル教育教材の導入 ・SEによる保守点検や技術相談の実施 ・外国語指導助手による授業の導入	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	14,904 千円	予算額	19,660 千円		
				④特色ある学校づくり	73 地域に開かれた学校づくりの推進	・ボランティア活動の実施 ・ホームページの充実 ・保護者が来校するような行事の実施	・継続して実施	・継続	教育文化課
				決算額	千円	予算額	千円		
74 地域の歴史、伝統文化を尊重した教育の推進	・総合学習で笠松町の歴史学習 ・大名行列お奴等、伝統行事への参加 ・町民運動会、リバーサイドカーニバルへのボランティア参加	・継続して実施	・継続	教育文化課					
決算額	千円	予算額	千円						

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
2 生涯にわたって楽しく学べるまち	1 まちの未来を担う子ども・若者をはぐくむまち	(1)幼児教育・学校教育の充実	④特色ある学校づくり	75 各学校の主体的事業に対する支援の充実	・学校教育推進交付金の交付	・継続して実施	・新たな取り組みの検討	教育文化課
				決算額	2,000 千円	予算額	2,000 千円	
			76 学校教育における地域人材の活用	・琴指導やクラブ活動指導、キャリア教育等で地域人材を活用	・継続して実施	・新たな人材の発掘	教育文化課	
				・岐阜工業高校の生徒さんの出前講座を実施	決算額	50 千円	予算額	189 千円
			77 特別支援教育の推進	・特別支援アシスタントや非常勤講師を配置	・学校の要望人数を配置	・現状を確認しつつ、学ぶ環境として必要数を精査	教育文化課	
				決算額	15,343 千円	予算額	17,038 千円	
		⑤きめ細やかな教育環境の確立	78 いじめ・不登校の解消に向けた取り組みの強化	・心の相談委員、学習アシスタントの設置 ・スマイル笠松の開設 ・生徒指導対策補助金で様々な対策を実施	・継続して実施	・継続	教育文化課	
			決算額	6,517 千円	予算額	6,634 千円		
		79 教職員研修への支援	・教職員研究・研修事業補助事業として、各小中学校に補助を実施	・補助金の有効活用の推進	・継続	教育文化課		
			決算額	36 千円	予算額	200 千円		
		(2)青少年の健全育成	①青少年を取り巻く環境の整備	80 学校・家庭・地域との連携の強化	・わくわく広場を開催	・継続して実施	・継続	教育文化課
				決算額	529 千円	予算額	550 千円	
81 青少年の健全育成に向けた意識啓発	・青少年育成町民会議による少年の主張大会の開催		・継続して実施	・継続	教育文化課			
	決算額		千円	予算額	千円			

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
2 生涯にわたって楽しく学べるまち	1 まちの未来を担う子ども・若者をはぐくむまち	(2)青少年の健全育成	①青少年を取り巻く環境の整備	82 青少年を有害環境から守る活動の促進	・7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に、青少年育成町民会議非行対策部会と保護司会が合同で、町内3地域で非行防止街頭啓発活動を実施	・継続して実施	・継続	教育文化課
				決算額	千円	予算額	千円	
			②青少年活動の活性化	83 青少年団体の活動支援	・町子ども会育成協議会に対し、活動施設使用料、年3回会報誌「そだち」発行等の補助金を交付	・子ども会育成協議会への支援	・継続	教育文化課
				決算額	374 千円	予算額	457 千円	
			84 国際交流活動の推進	・青少年海外派遣事業の実施	・4月に招致事業を計画していたが、実現に至らず	・8月に Guam 派遣を実施 ・青少年対象事業の方向性の検討	企画課	
				決算額	4,016 千円	予算額	592 千円	
	85 世代間交流や親子交流の促進	・青少年育成町民会議が推進する三世代ふれあい活動の実施(夏祭り清涼大会、もちつき大会、ポーリング大会)	・継続して実施	・継続	教育文化課			
		決算額	13 千円	予算額	75 千円			
	86 青少年の地域活動への参加促進	・道徳のまち笠松のTシャツを中学生に支給 ・中学生に対して、こどもわくわく広場、町民運動会、Eポート大会のボランティア活動への参加の呼び掛けを実施	・中学生ボランティア活動の募集	・継続	教育文化課			
		決算額	千円	予算額	千円			
	2 誰もがいつでも、いつまでも学び、活躍できるまち	(1)生涯学習の充実	①生涯学習に取り組める環境づくり	87 ITを活用した学習情報の提供	・公共施設予約システム導入に向け調査、研究を実施 ・ホームページ上での予約状況の確認実施	・継続して実施	・継続	教育文化課
				決算額	千円	予算額	千円	
88 生涯学習に取り組みやすい施設・利用環境の整備	・申し込み方法について、定員超の場合の抽選を導入 ・受付時間の延長	・継続して実施	・継続	教育文化課				
決算額	297 千円	予算額	305 千円					

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
2 生涯にわたって楽しく学べるまち	2 誰もがいつでも、いつまでも学び、活躍できるまち	(1)生涯学習の充実	②多様な生涯学習機会の提供	89 ライフステージや学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供	・生涯学習講座、企画展、私のコレクション、講演会の開催	・継続して開催	・継続	教育文化課 歴史民俗資料館
				決算額	3,658 千円	予算額	3,937 千円	
				90 家庭の教育力向上に向けた乳幼児学級・家庭教育学級への支援	・家庭教育シリーズ講座、親子教室の開催	・継続して開催	・継続	教育文化課
				決算額	98 千円	予算額	96 千円	
				91 現代的課題に関する学習機会づくり	・レクリエーション入門等、新規講座の開催 ・博物館機能をもつ資料館として、町民のニーズに応える企画づくり	・継続して実施	・自然科学系の展示を企画	教育文化課 歴史民俗資料館
				決算額	千円	予算額	千円	
			③主体的な生涯学習活動の活性化	92 地域固有の歴史・文化に関する学習機会づくり	・笠松町文化協会、NPO法人「笠松を語り継ぐ会」、「まちの駅」等の企画と連携 ・歴史探訪の案内	・継続して実施	・継続	教育文化課 歴史民俗資料館
				決算額	20 千円	予算額	20 千円	
				93 クラブ・サークル活動への支援	・広報かさまつ、ホームページにてサークルを紹介 ・中央公民館内のサークル掲示板設置による活動支援	・継続して実施	・継続	教育文化課
				決算額	千円	予算額	千円	
				94 生涯学習に関するリーダー等の育成と活用	・生涯学習講座ごとに代表者を決め、受講者の自主的な活動を促し、学習への意欲と発表会に向けての意識の高揚を図る	・継続して実施	・継続	教育文化課
				決算額	千円	予算額	千円	
95 学習成果を活かす機会や場の提供	・生涯学習講座の発表会の開催	・継続して開催	・継続	教育文化課				
決算額	4 千円	予算額	4 千円					

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課	
2 生涯にわたって楽しく学べるまち	2 誰もがいつでも、いつまでも学び、活躍できるまち	(2)スポーツ活動の推進	①スポーツに取り組める環境づくり	96 スポーツ活動に関する情報の提供	・ホームページや広報などで各競技団体、サークル等の活動情報を提供	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	千円	予算額	千円		
				97 スポーツ・運動施設の整備	・各種体育施設の整備、修繕	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	251,022 千円	予算額	77,893 千円		
				98 学校体育施設の開放および有効利用	・各種団体間において均衡性を保ちながら利用されている	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	317 千円	予算額	376 千円		
				99 スポーツ活動に関する指導者の育成	・指導者の高齢化について、予算措置を含め育成していく機会を設ける ・本部員会議による意見交換の場の提供	・継続して実施	・継続	教育文化課	
				決算額	千円	予算額	千円		
				②生涯スポーツの推進	100 各種スポーツ事業の普及・充実	・ホームページや広報などで各競技団体、サークル等の活動情報を提供 ・わくわく広場で体験会を実施	・継続して実施	・継続	教育文化課
			決算額	81 千円	予算額	108 千円			
			101 軽スポーツ等、誰もが楽しめるスポーツ活動の推進	・羽島郡健康ウォークを実施 ・町民運動会で軽スポーツの実施	・継続して実施	・継続	教育文化課		
			決算額	896 千円	予算額	1,037 千円			
③主体的なスポーツ活動の促進	102 体育協会やレクリエーション協会との連携による各種団体・クラブの育成	・体育協会やスポーツ推進委員等との意見交換を実施 ・各種スポーツ行事の運営を各種団体と連携して実施	・継続して実施	・継続	教育文化課				
決算額	千円	予算額	千円						

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
2 生涯にわたって楽しく学べるまち	2 誰もがいつでも、いつまでも学び、活躍できるまち	(2)スポーツ活動の推進	③主体的なスポーツ活動の促進	103 自主運営の促進および活動組織の整備	・体育協会、レクリエーション協会等の考えを聞く場を設け、施設の利便性向上及び自主的運営の促進を図る	・各種団体における自己財源の確保、役員等の高齢化への対応が必要	・継続 ・総合型地域スポーツクラブの議論が必要	教育文化課
					決算額 90 千円	予算額 90 千円		
	3 まちの歴史を次代につなぐまち	(1)歴史・文化の継承と活用	①歴史・文化の保存と継承	104 未指定文化財の調査および発掘の促進	・開発との調整に必要な埋蔵文化財包蔵地の分布調査を実施	・継続して実施	・継続	教育文化課
					決算額 千円	予算額 千円		
				105 町の歴史・文化を伝える資料の収集・保存	・住民から寄贈した歴史資料の保存	・継続して実施	・継続	歴史民俗資料館
					決算額 19 千円	予算額 19 千円		
				106 伝統芸能の継承	・伝統芸能の保存会に対し補助金を交付 ・大名行列お奴については振り手の育成等実施、芭蕉踊りは、保存会が中心となり伝承している ・常設展示にて笠松大名行列と円城寺の芭蕉踊りを紹介	・継続して実施	・継続	教育文化課 歴史民俗資料館
					決算額 810 千円	予算額 703 千円		
				107 資料保存のシステム化による文化財情報等の提供	・「笠松町文化財めぐりガイド」と笠松町のホームページにより情報提供を実施 ・収蔵資料目録のホームページでの公開に向けて進めている	・継続して実施	・資料表の個票作成 ・ホームページの公開に向けた取り組みの実施	教育文化課 歴史民俗資料館
					決算額 千円	予算額 千円		
				108 文化財保護活動への支援	・文化財保護審議会による文化財の保護、保存	・継続して実施	・継続	教育文化課
					決算額 183 千円	予算額 285 千円		
②歴史・文化の活用	109 文化財保護意識の高揚	・ふるさとかさまつ塾を年1回開催	・継続して開催	・継続	教育文化課			
		決算額 20 千円	予算額 20 千円					

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
2 生涯にわたって楽しく学べるまち	3 まちの歴史を次代につなぐまち	(1)歴史・文化の継承と活用	②歴史・文化の活用	110 歴史や文化を活かした住民活動の活性化	・笠松町の歴史、史跡を学ぶウォーキングラリーを実施 ・鮎鯨街道プロジェクトの開催 ・歴史探訪の案内の実施	・継続して実施	・継続	教育文化課 歴史民俗資料館
					決算額 千円	予算額 千円		

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課	
3人がつどう 活力あふれるまち	1 多様な産業 が活力を生み出すまち	(1)地域特性 を活かした農 業の推進	①農業の活 性化に向け た担い手づく りと体制の整 備	111 農業の担い 手の育成	・農事改良組合活動を通じて、後継者育成等を実施 ・人、農地プランの作成検討	・人、農地プランの作成	・人、農地プランの推進	環境経済課	
					決算額 444 千円	予算額 444 千円			
				112 農作業の受 委託の促進	・耕作放棄地解消に向け、制度の検討	・継続して実施	・継続	環境経済課	
					決算額 千円	予算額 千円			
				②農業経営 基盤の強化	113 消費者ニー ズに応じた良質 米生産の普及、 推進	・JA、県普及員と連携して良質な米の生産を推進	・継続して実施	・継続	環境経済課
						決算額 千円	予算額 千円		
			114 特産品開発 によるブランドづ くりの推進		・ブランド委員会にて、今後の方向性を確認	・商工業者、農業者と連携し、地元でとれたいちじく関連商品を推進	・継続	環境経済課	
					決算額 240 千円	予算額 76 千円			
			115 朝とり野菜 の販売等、産直 販売への取り組 み促進		・広報での周知の実施	・継続して実施	・継続	環境経済課	
					決算額 千円	予算額 千円			
			116 地産地消の 推進	・学校給食にて地元産の食材を使用	・継続して実施	・継続	環境経済課		
				決算額 218 千円	予算額 253 千円				
			117 安全・安心な 環境にやさしい 農業の推進	・無農薬の推進や農薬の適正使用についてのPR及び指導の実施	・継続して実施	・継続	環境経済課		
				決算額 千円	予算額 千円				

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
3人がつどう 活力あふれるまち	1 多様な産業 が活力を生み出すまち	(1)地域特性を活かした農業の推進	③農業生産基盤の整備	118 遊休農地の利用促進および耕作放棄地の解消	・利用状況調査、指導を実施	・農地法に基づき耕作放棄地等解消に向けて進めて行く	・継続	環境経済課
					決算額 83 千円	予算額 174 千円		
				119 かんがい排水事業の推進	・羽島用水土地改良区と共同で、事業を実施	・継続して実施	・継続	環境経済課
					決算額 11,062 千円	予算額 11,225 千円		
				120 農地の面的集積利用等の促進	・農地利用円滑化団体等と連携を密にして実施	・地域農業のあり方を検討しながら継続	・継続	環境経済課
					決算額 千円	予算額 千円		
				121 体験農園等による農業体験機会の提供	・実現に向け調査研究中	・継続して実施	・継続	環境経済課
		決算額 千円	予算額 千円					
		(2)商工業の振興	①新たな事業活動への支援	122 起業に向けた支援の充実	・中小企業支援ネットワーク強化事業の活用	・商工会と連携し継続	・継続	環境経済課
					・広域支援室との連携強化 ・国、県の制度融資の活用促進を商工会にて実施	・PR活動の充実	・平成25年末まで継続	
				決算額 千円	予算額 千円			
			②経営体質の強化	123 新規事業の導入企業や異業種転換企業の支援	・産業振興支援事業(助成制度)を実施	・PR活動の充実	・平成25年末まで継続	環境経済課
					決算額 9,304 千円	予算額 13,000 千円		
				124 地域の特性を生かした個性的な経営戦略の促進	・商工会が主体となって事業展開するよう働きかけを行う	・商工会と連携し継続	・継続	環境経済課
決算額 千円	予算額 千円							

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
3人がつどう 活力あふれるまち	1 多様な産業 が活力を生み出すまち	(2)商工業の 振興	②経営体質 の強化	125 経営相談や 講習会等を通じた 助言、指導	・県、県連主催事業の情報提供 ・中小企業支援ネットワーク強化事業の実施 決算額 1,919 千円	・商工会と連携し継続 予算額 2,056 千円	・継続	環境経済課
				126 高齢社会に 対応した新たな 事業展開の取 組み促進	・商工会が主体となって事業展開するよう 働きかけを行う 決算額 千円	・商工会と連携し継続 予算額 千円	・継続	環境経済課
				127 各種融資制 度の周知および 活用促進	・中小企業小口融資事業、利子助成事業 実施 決算額 4,374 千円	・継続していくが、今後のあり方について調 査、研究が必要 予算額 7,000 千円	・継続	環境経済課
				128 情報技術の 活用による情報 発信と経営の効 率化	・インターネット活用事業、かさまつモール、 SHIFT、ビジネスモールの実施 決算額 567 千円	・商工会と連携し継続 予算額 717 千円	・継続	環境経済課
				129 産官学の連 携や異業種間の 交流による研究・ 学習機会の拡充	・セミナー情報の提供 ・農業異種交流会への参加 決算額 千円	・商工会と連携し継続 予算額 千円	・継続	環境経済課
				130 各種団体活 動の育成・支援 の実	・工業、商業及び税務対策関係団体の活 動支援を実施 決算額 1,790 千円	・商工会と連携し継続 予算額 1,850 千円	・継続	環境経済課
			131 共同化・協 業化による活動 や事業展開への 支援	・商工会が主体となって事業展開するよう 働きかけを行う 決算額 千円	・商工会と連携し継続 予算額 千円	・継続	環境経済課	

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
3人がつどう 活力あふれるまち	1 多様な産業 が活力を生み出すまち	(2)商工業の 振興	④雇用環境 の充実	132 働きやすい 職場環境づくりの 推進	・労働施策の情報を提供	・商工会と連携し継続	・継続	環境経済課
					決算額	千円	予算額	
				133 職業能力開 発等、就業に向 けた支援の充実	・人材育成、能力開発事業への助成	・商工会と連携し継続	・継続	環境経済課
					決算額	310 千円	予算額	
		(3)観光・イベ ントの推進	①観光・交流 を促進する基 盤の整備	134 観光・イベ ント等の情報発信	・広報媒体を活用し、観光パンフレットの作成・配布や町内外への情報発信を実施 ・町外イベント参加時に、マスコットキャラクターを活用	・各課の独自PRチラシ作製に向けた働きかけ ・新たな情報発信方法等の模索	・町の魅力を発信できるイベントを町外で開催	企画課 環境経済課
					決算額	818 千円	予算額	
				135 笠松力検定 による笠松コン シェルジュの認 定	・笠松力検定委員会を開催し、「初級」「中級」に加え「上級」「キッズ」検定を実施	・「初級」「中級」「上級」「キッズ」を継続実施 ・コンシェルジュの認定に向け委員会を開催	・継続	企画課
					決算額	134 千円	予算額	
				136 笠松ブランド の発掘と流通・販 売の促進	・笠松ブランド検討委員会で今後の方針が示された ・かさまつ応援寄附金の寄附者に対し、町の企業の特産品等を「ふるさとかさまつ宅配便」として送付	・応援寄附金の「お礼の品」をパートナー事業として公募 ・今後、事業者、農業者に対し、側面的協力を行う	・応援寄附金のパートナー事業者を核に、各種イベント時の出店などに努める	企画課 環境経済課
					決算額	7,047 千円	予算額	
				137 住民参画に よるまちなみ景 観や地域資源保 存指針の策定	・古民家「杉山邸」の保存、登録有形文化財の指定など現在に至るまでNPO法人笠松を語り継ぐ会に管理運営を委託	・歴史的まちなみ景観の指定、地域資源保存指針の策定に向け調査、研究を実施する	・継続	企画課
					決算額	千円	予算額	
②木曾川な ど、町の資源 を活かした魅 力づくり	138 「川の駅」 等、リバーサイ ドタウンかさまつ 計画の推進	・河川敷を活用したイベントに協力し、憩い空間を創出	・継続してイベントに協力 ・「まちの駅」の自主活動を促進	・イベントが定期開催されるよう、協力体制を確立	企画課			
		決算額	千円	予算額		千円		

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課		
3人がつどう 活力あふれるまち	1 多様な産業が活力を生み出すまち	(3)観光・イベントの推進	②木曾川など、町の資源を活かした魅力づくり	139 トンボ天国や河跡湖の再生とビオトープ化の推進	・木曾川上流河川事務所による環境整備、町による芝広場の業者管理委託 決算額 4,987 千円	・継続して実施 ・トンボ天国芝広場等清掃及びトンボ池周辺の竹伐採ボランティア活動の実施 予算額 5,025 千円	・継続	教育文化課		
				140 まちの駅ネットワークによる行政との協働体制の促進	・2駅を新規認定(計46) ・笠松“ワケ知り”ウォークを開催 ・月1回の駅長会議を実施 決算額 千円	・月1回の駅長会議を継続して実施 ・ネットワーク化促進に向けた、事務局機能の確立 予算額 千円	・事務局機能の充実を図り、組織化(代表者の設置、会費等での運営)の促進	企画課		
				141 広域的な連携による観光資源のネットワークづくり	・濃尾連携の会による物産展の開催、情報誌の配布 ・「ぎふの旅ガイド」を利用して、町の観光資源をPR 決算額 千円	・継続して実施 予算額 千円	・継続	企画課 環境経済課 建設課		
				142 住民との協働によるイベントの推進	・リバーサイドカーニバルにおける住民参加型イベントの実施 決算額 17,208 千円	・継続して実施 予算額 17,208 千円	・継続	環境経済課		
				143 地域特性を活かした新たなイベントの研究・開催	・イベント開催後の反省を踏まえ、今後のイベントのあり方(内容等含め)について調査研究を実施 決算額 千円	・継続して実施 予算額 千円	・継続	環境経済課		
				144 関係機関との連携による全町的な推進体制の拡充	・イベント実行委員会構成団体での連携によってイベント等の推進を図る ・町内NPO団体が主催するイベントへの協力体制を構築 決算額 千円	・継続して実施 予算額 千円	・まちづくりに係るNPO等とも連携、推進体制を模索する	企画課 環境経済課		
			2 みんながいきいきと地域づくりに取り組むまち	(1)コミュニティ活動の充実	①コミュニティづくりに向けた意識づくり	145 町内会活動の重要性に対する理解促進	・町内会の意義についての相談があった場合に、その必要性の説明を実施 ・町内会活動の重要性についての広報活動等の支援を実施 決算額 千円	・各種町内行事への参加を促す ・住民意識を高められるよう、引き続き支援する 予算額 千円	・継続	総務課
						決算額 千円	予算額 千円			

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
3人がつどう 活力あふれるまち	2 みんながい きいきと地域 づくりに取り 組むまち	(1)コミュニ ティ活動の充 実	①コミュニティ づくりに向け た意識づくり	146 地域行事・ 活動に関する情 報提供と参加促 進	・町の行事や町内会活動の情報について、 広報紙等を活用した情報提供を実施	・町内会活動に誰でも参加でき、また、参加 したくなるような情報発信を、広報紙等によ り継続して実施	・継続	総務課
				決算額	千円	予算額	千円	
			147 町内会活動 等への支援	・春まつり等の町内会活動や、地区集会所 の修繕に対し助成するなどの支援を実施	・継続して実施	・継続	総務課	
				決算額	10,190 千円	予算額	12,609 千円	
			148 各世代にお ける地域リー ダーの育成・支 援	・各種イベントや行事に幅広い世代の参加 を促進し、地域リーダーの育成、支援を実 施	・継続して実施	・継続	総務課	
				決算額	千円	予算額	千円	
		②コミュニティ 活動の活性 化	149 コミュニティ 相互の連携によ る活動展開への 支援	・町内会を中心に、各種コミュニティが協働 して活動できる場の提供を実施	・継続して実施	・継続	総務課	
			決算額	千円	予算額	千円		
		150 施設の有機 的な連携および 適正な配置	・既存施設の改修、耐震化を進めている	・既存施設の効率的な配置の検討	・継続	総務課		
			決算額	千円	予算額	千円		
		151 協働による まちづくりの推 進	・協働型町民活動促進事業補助金を25団 体に交付 ・住民発起のイベント(名鉄ハイキング等) に対する場所、物の協力、運営補助など支 援体制を明確化	・行政、団体がどちらも依存しすぎないよ う、相互に対等の立場で事業を推進してい くことが必要	・将来を担う人材の育成	企画課		
			決算額	9,394 千円	予算額	11,000 千円		
(2)活発なまち づくり活動の 推進	①まちづくり を進める基盤 整備	152 まちづくり活 動を担う人材の 育成	・道徳のまち推進会議との連携の実施 ・笠松力検定の「キッズ」を新設し郷土愛を 高める取り組みを継続	・かさまつ超おもてなし隊を核として、中学 生ボランティアや「こどものまち」実施による 子どもスタッフが積極的にまちづくりに参画 できる機会を創出 ・笠松力検定「キッズ」を継続	・かさまつ超おもてなし隊と の連携 ・人材育成ネットワークの周 知	企画課		
		決算額	447 千円	予算額	405 千円			

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
3 人がつどう 活力あふれるまち	2 みんながい きいきと地域 づくりに取り 組むまち	(2)活発なまち づくり活動の 推進	①まちづくり を進める基盤 整備	153 まちづくり活 動を支援する体 制の整備	・道徳のまち推進会議との連携による支援 ・各種情報提供の実施	・まちづくり団体の組織化の検討 ・活動への支援体制の構築	・ボランティア団体の支援窓 口を一本化	企画課
					決算額	千円	予算額	
			②住民による まちづくり活 動への支援	154 NPO法人 等、まちづくり活 動団体の組織化 の促進および支 援	・NPO法にかかる認証事務の権限移譲を 受け、支援体制の確立に努めた	・支援体制の継続、各種まちづくり団体の 事業への協力の実施	・継続	企画課
					決算額	千円	予算額	
			155 活動のコー ディネート機能の 強化	・町が協力できることをワンストップの相談 窓口で受け付ける体制(NPO法にかかる認 証事務の権限移譲)の整備	・法改正等を迅速に町内団体に提供できる 体制を整備 ・定期的にNPO法人の連絡会を実施	・NPO法人の連絡会に、各 種ボランティア組織が参画 できる体制を構築	企画課	
				決算額	千円	予算額		千円

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課	
4 便利で快適な住みよいまち	1 暮らしやすく機能的な都市基盤をつくるまち	(1)計画的な土地利用の推進	①秩序ある宅地開発の推進	156 計画的な土地区画整理事業の推進	・住宅地と商工業地に混在の問題解消に向け、計画的な宅地整備の推進のための調査、研究を実施	・土地区画事業が必要な箇所への把握	・土地区画事業が必要な箇所への把握 ・広報・ホームページ等で計画的な土地区画整理事業のPRの実施	企画課	
					決算額 千円	予算額 千円			
				157 土地利用の基礎資料作成に向けての調査	・笠松町都市計画マスタープランを基に、有効な土地利用の促進を図るための調査、研究	・継続して実施 ・都市計画基礎調査の実施	・継続	建設課	
					決算額 千円	予算額 千円			
				158 地区計画の導入による快適な住環境整備	・平成8年作成の松枝地域地区計画の精査 ・有効な土地利用の促進を図るための調査、研究	・目的・ビジョンの明確化を図るための調査研究の実施	・継続	建設課	
					決算額 千円	予算額 千円			
				159 宅地開発の規制や誘導に向けた指導、相談体制の充実	・開発地に関わる状況、計画などを案内する中で建築事務所へ相談、確認し、指導体制の充実を図る	・継続して実施	・継続	建設課	
					決算額 千円	予算額 千円			
				②都市機能の強化	160 道路整備プログラム作成による整備優先度の明確化	・平成13年作成の都市計画道路整備プログラムの精査 ・有効な土地利用の促進を図るための調査、研究	・継続して実施	・都市計画道路整備プログラムの見直し	建設課
						決算額 千円	予算額 千円		
					161 岐阜都市計画の見直しにあわせた市街化区域拡大の推進	・岐阜都市計画協議会において、各市町の円滑な都市計画の推進について協議	・継続して実施	・継続	建設課
						決算額 34 千円	予算額 34 千円		
	162 中心市街地の効率的・機能的な土地利用の推進	・目的に応じた地区計画の導入や有効な土地利用の促進を図るための調査、研究	・継続して実施	・継続	建設課				
		決算額 千円	予算額 千円						

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
4 便利で快適な住みよいまち	1 暮らしやすく機能的な都市基盤をつくるまち	(1)計画的な土地利用の推進	②都市機能の強化	163 交通立地条件を活かした新たな流通・生産拠点の整備	・新たな流通、生産拠点の整備に向けた土地利用についての調査、研究	・継続して実施	・継続	建設課
					決算額	千円	予算額	
			③土地の有効活用	164 未利用地の有効活用に向けた助言・支援の推進	・計画的な買収による未利用地の有効活用、適正な道路網の整備拡充 ・国土利用計画に基づき審査を実施	・継続して実施	・継続	企画課 建設課
					決算額	18,443 千円	予算額	
			165 将来を見据えた土地の先行的な取得および公共用地の有効活用	・利用見込のない普通財産について、公売を実施	・未利用地の売却の実施	・継続	総務課 企画課	
				決算額	千円	予算額		千円
		(2)便利で快適な道路網の整備	①計画的な道路整備	166 都市計画道路整備プログラム修正による整備優先度の明確化	・平成13年作成の都市計画道路整備プログラムの精査 ・周辺市町との連続性のある道路整備の推進について調査、研究を実施	・継続して実施	・都市計画道路整備プログラムの見直し	建設課
					決算額	千円	予算額	
			②快適な生活道路の整備	167 幹線町道の改良、整備	・舗装改良、側溝新設工事の実施	・継続して実施	・継続	建設課
					決算額	2,238 千円	予算額	
				168 機能的で美しい道路修景の推進	・屋外広告物の管理、違反広告物の除去	・継続して実施	・継続	建設課
					決算額	105 千円	予算額	
169 歩行者にとって安全な道づくり	・パイプライン上部利用整備工事 ・羽島用水(東幹線)上部利用整備工事設計業務委託 ・用地買収	・パイプライン上部利用整備工事	・継続	建設課				
	決算額	14,703 千円	予算額		55,650 千円			

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
4 便利で快適な住みよいまち	1 暮らしやすく機能的な都市基盤をつくるまち	(2)便利で快適な道路網の整備	③広域幹線道路網の整備	170 木曾川右岸道路の整備促進	・関係市町との整備促進に向けた情報の共有	・継続して実施	・継続	建設課
					決算額 千円	予算額 千円		
				171 国道・県道の整備促進	・21号、22号バイパス、南部ハイウェイ整備促進期成同盟会負担金、東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会負担金	・継続して実施	・継続	建設課
					・要望活動の実施	決算額 35 千円	予算額 35 千円	
				172 計画的な都市計画道路の整備	・平成13年作成の都市計画道路整備プログラム	・継続して実施	・都市計画道路の見直しに向けた交通量調査の実施	建設課
					・周辺市町との連続性のある道路整備の推進について調査、研究を実施	・羽島署高桑線の整備に向け岐阜市との施工協議を実施		
		(3)公共交通体系の充実	①地域を結ぶ公共交通網の充実	173 巡回町民バスの利用促進	・利用者の利便性向上に繋がるバスの導入について調査、研究を実施	・乗降調査の実施	・利用者増に向けた様々な方策の検討	企画課
					決算額 17,532 千円	予算額 23,047 千円		
				174 効率的で利便性の高い巡回町民バス路線の整備	・交通空白地帯の解消を目指し、運行路線の抜本的な見直しを検討	・交通空白地帯の解消を目指し、運行路線の抜本的な見直しを実施	・見直した運行経路への移行 ・低床バスの導入などにより利用高齢者への配慮を実施	企画課
					決算額 千円	予算額 千円		
				175 地域の実情にあった新たな交通・サービスの導入の検討	・デマンドタクシーやボランティア有償運送など新地域公共交通サービスの洗い出し	・継続して実施	・継続	企画課
					決算額 千円	予算額 千円		
176 鉄道およびバス等を総合的に活用した公共交通利用促進策の検討	・県地域公共交通協議会等による情報収集	・継続して実施	・継続	企画課				
	・JR新駅の必要性について検討 ・岐阜バス岐阜川島線に対し関係市町と共に補助金を支出	決算額 1,093 千円			予算額 千円			

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
4 便利で快適な住みよいまち	2 快適でいつまでも住みたいまち	(1)良好な住環境の創出	①安心して暮らせる住環境の整備	177 駅を活かした拠点の整備	・「ふらっと笠松」の継続運営 決算額 千円	・駅、バス集合場所など拠点を結ぶ散策コースの調査、研究 予算額 千円	・継続	企画課
				178 建築指導や相談の実施	・建築地に関わる用途地域、道水路の状況と計画についての案内を実施 ・定住促進のPRとして広報、ホームページにて紹介、住宅展示場へチラシを設置 決算額 16,279 千円	・パンフレットを作成しイベント等にて設置、配布を実施 ・事業の継続性について検討 予算額 17,718 千円	・未定	税務課 建設課
				179 美しいまちなみづくりへの支援	・空き家等の適正な管理に関する条例を制定 決算額 千円	・危険家屋等に対する助言、指導の徹底 予算額 755 千円	・継続	総務課 企画課 建設課
				180 道路や歩道、公共施設における緑化の推進	・街路樹の剪定、草刈りの実施 ・緑の募金による道路等の緑化推進 決算額 309 千円	・継続して実施 予算額 312 千円	・継続	環境経済課 建設課
			②うるおいのある景観づくり	181 地区基幹公園や身近な街区公園の整備	・運動公園改修実施設計業務委託 決算額 9,135 千円	・継続して実施 予算額 63,000 千円	・継続	建設課
				182 木曾川の自然を活かしたサイクリングネットワークの構築	・サイクリングロード整備工事 決算額 1,919 千円	・継続して実施 予算額 14,198 千円	・継続	建設課
				183 住民主体の環境美化活動の活性化	・美しいまちづくり条例に基づき、空き地所有者に対して適切に管理するよう指導を実施 指導実績(平成24年度 13件) 決算額 千円	・雑草に関する苦情が多い夏季に、広報紙や無線放送で啓発を実施 予算額 千円	・毎年苦情が出る空き地に、定期的にパトロールを実施し、苦情発生前に指導できる体制の検討	環境経済課
					決算額 千円	予算額 千円		

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
4 便利で快適な住みよいまち	2 快適でいつまでも住みたいまち	(1)良好な住環境の創出	③良質な水の安定供給	184 水源施設の適切な維持管理	・第1及び第4水源地の主要機器の法定耐用年数が有に過ぎていることから、たびたび故障が発生するため、修繕を実施 決算額 883 千円	・第4水源地の主要機器が法定耐用年数を超過しており、2か年にわたり更新を実施 予算額 253,146 千円	・継続	水道課
				185 水道施設の耐震化	・経年配水管の更新により、耐震化の促進を図り漏水による道路陥没等の事故防止、有収率の向上を図る ・配水管の耐震補強工事の実施 決算額 58,046 千円	・継続して実施 予算額 40,352 千円	・継続	水道課
				186 周辺自治体との相互給水支援体制の強化	・災害時に(社)日本水道協会会員の水道事業者等による応援給水の実施 ・各務原市との相互給水支援体制について今後協議をすすめていく 決算額 千円	・継続して検討 予算額 千円	・継続	水道課
				187 節水を意識した適切な水利用の啓発	・小学4年生を対象とした水源見学会のなかで、水を大切に使用するよう啓発を実施 決算額 千円	・継続して実施 予算額 千円	・継続	水道課
				188 水道事業の安定経営に向けた民間委託の検討	・窓口・収納業務業務の民間委託を実施 決算額 4,200 千円	・民間委託できる業務について、他市町の状況を鑑み精査を実施 予算額 4,200 千円	・継続	水道課
				189 進捗状況にあわせた事業認可区域の拡大	・認可計画目標年次:平成27年度 ・認可計画区域面積:557.6ha(内市街化区域面積:493.6ha) 決算額 千円	・適切な認可拡大区域の検討を実施 予算額 千円	・継続	水道課
		(2)清潔で快適な環境の整備	①計画的な公共下水道の整備	190 効率的な下水道管渠整備と耐震対策の推進	・平成24年度末整備済面積:454.6ha ・平成25年度整備予定面積:13.29ha 決算額 144,307 千円	・平成27年度まで、認可区域内の未整備箇所のうち、市街化区域の整備を優先して実施 予算額 199,565 千円	・継続	水道課
				決算額 144,307 千円	予算額 199,565 千円			

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
4 便利で快適な住みよいまち	2 快適でいつまでも住みたいまち	(2)清潔で快適な環境の整備	①計画的な公共下水道の整備	191 水洗化の促進と下水道への接続促進	・水洗便所等改造資金融資あっ旋及び利子補給制度、水洗便所等改造工事助成金交付制度を設け接続促進を図る ・広報、HP等で啓発を実施	・継続して実施	・継続	水道課
				決算額	3,070 千円	予算額	3,820 千円	
			②衛生的な環境の整備	192 し尿および浄化槽汚泥の適正な収集処理の推進	・浄化槽等の設置に関する必要な事項を調査、把握、管理することを目的に浄化槽及び汲み取り槽の現況確認調査を実施	・浄化槽及び汲み取り槽の現況調査を基に集計、分析を実施	・浄化槽の設置状況を把握することにより、効率的な収集体制を確立する	環境経済課
				決算額	484 千円	予算額	520 千円	
			193 浄化槽の適正な維持管理への指導	・公共下水未整備区域において、合併処理浄化槽の普及を推進 ・浄化槽の保守点検、清掃及び法定点検についての啓発を実施	・広報紙等で浄化槽の保守点検、清掃及び法定点検について定期的に啓発を実施	・県、保守点検業者等と連携し、悪質なケースについては指導の徹底を図る体制の整備	環境経済課	
				決算額	千円	予算額	千円	
		194 公害防止に向けた対策の強化	・公共水域等水質検査(年3回)をはじめ各種検査、測定等を実施 ・併せて事業所に対して指導を実施	・水質汚濁の原因特定のため、検査場所の見直し、変更を検討	・県と連携し、悪質なケースについては指導の徹底を図る	環境経済課		
			決算額	2,258 千円	予算額	413 千円		
		195 社会情勢に即した火葬場施設および墓地周辺環境の整備	・施設の老朽化に伴い、火葬炉の拡大改修工事等を実施 ・火葬場及び緑町墓地の大規模改修等に対応すべく、整備基金を積み立てていく	・町営墓地周辺に駐車場を確保するための調査、研究	・将来的な火葬場大規模改修工事に向けた、周辺用地取得に係る調査、研究	環境経済課		
			決算額	10,232 千円	予算額	6,066 千円		
3 未来の環境を守るまち	(1)循環型社会の構築	①環境にやさしいまちづくり	196 環境にやさしい暮らし方に関する意識啓発	・公共施設や家庭において節電・節水等省エネルギーに係る啓発、啓蒙活動の実施	・太陽光発電システム設置整備補助金をホームページ及び広報紙等にて周知	・徒歩や自転車利用、公共交通の利用率向上、ノーマイカーデーの設定等積極的な導入の検討を実施	環境経済課	
			決算額	千円	予算額	千円		
		197 地球温暖化防止対策の推進	・町民や事業者に対し、自然エネルギーの活用や省エネ活動の取り組みを促し、CO2の削減によって地球温暖化防止に資するための啓発・啓蒙活動を実施	・太陽光発電システム設置整備補助金交付事業を実施し、自然エネルギーの活用によるCO2削減を図る	・環境保全施策の適正な進捗管理と温室効果ガスの削減の推進に係る施策の検討	環境経済課		
決算額	千円	予算額	1,800 千円					

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
4 便利で快適な住みよいまち	3 未来の環境を守るまち	(1)循環型社会の構築	①環境にやさしいまちづくり	198 環境保護活動団体の育成・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールコンポスト等生ごみ減量化に資する処理装置の導入の推進 ・ごみの減量化やCO2削減に取り組んでいるボランティア団体等のHP、広報紙への活動内容の掲載など実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールコンポスト生ごみ減量化講習会で、協力団体の活動内容等を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・町民主体による学習会の開催や自然保護活動の積極的支援の検討 	環境経済課
				決算額	千円	予算額	千円	
			②ごみの減量化・資源化の推進	199 ごみの減量化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・資源集回回収事業奨励事業金交付事業、生ごみ減量化推進補助金交付事業の実施 ・レジ袋の有料化を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨て商品の消費を抑制する意識や、物を大切に長く使う意識を醸成する啓発活動を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの排出抑制(リデュース)を推進するとともにごみの有料化のあり方について議論を実施 	環境経済課
				決算額	2,133 千円	予算額	2,806 千円	
			200 リサイクルと再資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進員の協力体制のもと分別回収を実施 ・推進員に対してリサイクル工場等への視察研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民や事業者への情報提供・意識の啓発に努める ・使い捨て防止、再生利用などごみの資源化、再利用や自家処理の促進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源の有効利用とごみの発生抑制を即すため商品、製品の製造過程、包装など業者、消費者の総合的な協力を要請し、ごみの発生抑制に努める 	環境経済課	
				決算額	4,952 千円	予算額	5,013 千円	
			201 わかりやすい分別収集体制の確立と資源回収システムの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・分別方法を掲載したごみのカレンダーを各世帯に配布 ・年に1回廃棄物減量等推進会議にて各町内代表の推進員に詳細な分別方法の説明を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物減量等推進員の研修で、中間処理及びリサイクル処理の流れを見学してもらい、資源回収システムをより理解してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・減量推進員のより効果的かつ合理的な研修方法の検討 ・ストックヤードの将来的な設置に係る調査、検討 	環境経済課	
				決算額	834 千円	予算額	210 千円	
			202 適正な廃棄物の収集・処理の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や事業者に対して、ごみ処理意識の向上と排出抑制方法、分別方法の普及を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・不用品無料回収所への県との立入調査を実施 ・金物ごみの持ち去り防止に係るパトロールの実施 ・ごみ集積所への啓発看板の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所から排出される一般廃棄物について、事業者の協力を得ながら継続的なごみの減量化、リサイクルへの取り組みが必要 	環境経済課	
				決算額	100 千円	予算額	100 千円	
203 関係市町との連携による処理施設の整備や最終処分場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜羽島衛生施設組合で策定されたごみ処理施設整備基本計画に基づき、新規ごみ処理施設の建設に向け広域的な整備を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣自治体との広域的連携を図り、処理施設及び最終処分場の安定的な確保に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続 	環境経済課				
	決算額	50,146 千円	予算額	50,219 千円				

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課		
5 安全で安心して暮らせるまち	1 いざという時にも安心できるまち	(1)防災対策の推進	①総合的な防災・災害時対策の推進	204 環境の変化にともなう地域防災計画の見直し	・原子力災害及び県震災シュミレーション結果に基づき、防災計画の見直しに着手	・原子力災害及び県震災シュミレーション被害想定による、地域防災計画の見直しを実施	・必要に応じた見直しを実施	総務課		
					決算額	千円	予算額	13 千円		
				205 緊急通信体制の充実	・緊急時の連絡体制のひとつとして「あんしんかさまつメール」の運用管理を実施 ・緊急速報メール、エリアメールを利用開始 ・個別受信機の設置世帯普及のため、アンケート調査を実施	・学校グループ加入者等へチラシを配布し加入促進を図る ・防災行政無線の拡充整備のため、デジタル化を視野に入れた伝搬調査を実施	・県防災システムの更新を実施予定			
					決算額	8,423 千円	予算額	13,275 千円		
				206 施設・設備等の整備	・防災備蓄計画に基づき、備蓄品の整備を実施	・継続して実施	・継続			
					決算額	7,793 千円	予算額	4,598 千円		
				207 災害時の応援協定の拡充	・災害時の医療救護に関する協定にかかる、医療救護計画にかかる協議、検討を実施	・町単独では対応困難が想定される事例を解消するための協定締結の検討、実施	・継続			
					決算額	千円	予算額	千円		
				208 災害時の支援受入れや迅速な復興に向けた体制の整備	・国、県と連携した防災訓練に参加し、支援体制の確認を行った	・災害時の生活の早期復旧と行政サービスの提供を目的とした、業務継続計画を策定	・継続			
					決算額	千円	予算額	千円		
					209 防災に関する意識啓発と防災教育の推進	・自主防災訓練の内容に防災用備蓄品の項目を追加し、各家庭での備蓄の重要性を啓発	・広報、防災訓練時等に継続的に普及活動を実施	・継続		
						決算額	千円	予算額	千円	
	②地域における防災・災害時対策の推進	210 自主防災組織の育成・支援	・家具転倒防止補助器具支給事業を継続実施	・自主防災会会長に町内の状況を情報提供し、訓練実施率の向上を目指す	・実践的な訓練の実施					
			決算額	33 千円	予算額	37 千円				

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課	
5 安全で安心して暮らせるまち	1 いざという時にも安心できるまち	(1)防災対策の推進	②地域における防災・災害時対策の推進	211 地域における防災訓練の実施	・各自主防災会が防災訓練を実施(55自主防災会 3,935人参加) ・学校、保育所、幼稚園に、子どもの防災訓練参加を呼び掛けた	・避難所を自主運営できるような体制を整えるため、HUG訓練を実施	・自分の地域は自分で守るという目的達成のため、自主運営できる体制整備に努める	総務課	
				212 災害時要援護者の把握と支援体制の整備	・要援護者支援制度を継続実施	・災害対策基本法の一部改正により要援護者名簿の作成が義務付けられたことにより、登録、作成、情報共有等の在り方を検討	・継続	総務課	
					決算額 千円	予算額 千円			
				③水害対策の充実	213 関係機関との連携強化による都市型水害対策の強化	・国土交通省河川管理受託事業 ・排水ひ管の管理	・継続して実施	・継続	建設課
						決算額 309 千円	予算額 432 千円		
					214 木曾川の護岸整備等をはじめとする治水事業の促進	・サイクリングロード、リバーサイドタウン笠松計画の事業実施に合わせ、国交省へ護岸整備を要望	・継続して実施	・継続	建設課
			決算額 千円			予算額 千円			
			215 中小河川や貯留施設等の整備による雨水対策の推進		・公共下水道(雨水)事業における効率的な事業実施のため雨水計画の見直しを図った	・継続して実施	・継続	建設課	
					決算額 7,245 千円	予算額 115,398 千円			
			④耐震化の推進	216 公共施設の耐震化の推進	・笠松中学校屋内運動場の設計完了	・笠松中学校屋内運動場の新築工事に着手 ・庁舎の耐震補強工事実施設計	・計画的に公共施設の耐震補強を行う	総務課	
					決算額 千円	予算額 千円			
				217 一般住宅の耐震化の推進	・無料診断 18件 ・診断助成 0件 ・補強工事助成 0件	・無料診断 30件 ・診断助成 3件 ・補強工事助成 4件	・無料診断 30件 ・診断助成 3件 ・補強工事助成 5件	建設課	
					決算額 810 千円	予算額 4,800 千円			

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
5 安全で安心して暮らせるまち	1 いざという時にも安心できるまち	(2)消防・救急体制の充実	①火災予防・消防体制の整備	218 防火意識の高揚と知識の普及	・秋季全国火災予防運動期間にあわせて77歳以上の独り暮らし高齢者宅の防火診断を実施	・継続して実施	・継続	総務課
				219 消防団等の地域組織の充実	・消防団及び女性防火クラブが自主防災会防災訓練に参加、協力	・継続して実施	・継続	総務課
					決算額 千円	予算額 千円		
				220 消防施設・設備の整備	・救助工作車の更新及び消防救急デジタル無線を整備	・高規格救急自動車の更新	・消防ポンプ自動車(CD1)及び人員搬送車の更新	総務課
					決算額 246,498 千円	予算額 25,000 千円		
				②救急・救助体制の整備	221 講習会等を通じた自主救護能力の向上	・町広報無線及び広報紙等を使用し広報活動を実施	・継続して実施	・事業所等に対象を広げ、立入検査等時に広報活動の実施を検討
			222 AED等の救急・救助資機材の整備		・AEDを2施設に設置(H24年度末 32施設設置)	・AEDの計画的更新 ・災害等に備え、救助用資材等の充実	・継続	総務課
					決算額 691 千円	予算額 2,085 千円		
			223 救急医療機関の周知と適切な利用の促進		・休日急病診療(内科・歯科)、小児救急医療(夜間)の実施について広報、無線、ホームページで周知 ・救急医療情報センターについて広報、ホームページで周知	・継続して実施	・継続	総務課 福祉健康課
					決算額 千円	予算額 千円		
			224 IC患者カードの普及促進に向けての検討		・松波総合病院が発行 ・県の動向を見ながら調査、研究	・600枚程度発行	・救急隊への情報提供を行うために更なる普及方法の検討	総務課 福祉健康課
				決算額 千円	予算額 千円			

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課	
5 安全で安心して暮らせるまち	1 いざという時にも安心できるまち	(2)消防・救急体制の充実	②救急・救助体制の整備	225 近隣市町との連携による第2次救急体制の確立	・近隣消防本部との応援協定による救急体制の整備 ・ドクターヘリとの協定による救急体制の確立 ・DMATの派遣要請による救急体制の確立 ・松波総合病院と医師等派遣要請の覚書の締結	・継続して実施	・継続	福祉健康課	
				決算額	千円	予算額	千円		
	2 地域みんなで安全・安心な環境をつくるまち	(1)防犯体制の強化	①犯罪を未然に防ぐ環境づくり	226 防犯に関する意識啓発と防犯教育の推進	・町内の交番が発行する「笠松だより」などの広報誌を各町内会へ毎月配布	・継続して実施	・継続	総務課	
				227 犯罪等に関する情報共有体制の整備	・町内で不審者等が発生した場合、あんしんかさまつメールで情報配信し、迅速に住民へ周知させる	・継続して実施	・継続	総務課	
				決算額	千円	予算額	千円		
				228 消費者保護に関する意識の醸成	・消費者被害の防止対策として啓発パンフレットの作成、配布を実施	・町ホームページや広報紙等への啓発記事掲載 ・成人式における新成人への消費者トラブル相談マニュアルの配布	・高齢者を対象とした専門相談員による出前講座の実施等を検討	環境経済課	
			229 消費者保護体制の整備	・専門知識のある消費生活相談員を配備し悪徳商法等による被害相談に対応している	・平成24年に設置したPIO-NETにより、国民生活センターからの情報を速やかに取得し、消費者相談に迅速対応可能な体制を確立に努める	・専門相談員の常時配備など相談業務の体制を強化への調査研究	環境経済課		
			決算額	170 千円	予算額	196 千円			
			③地域防犯活動の育成	230 防犯活動団体の育成・支援	・町内の防犯活動団体に対して支援を実施	・継続して実施	・継続	総務課	
				231 青パトを利用した防犯活動の強化	・少年補導センターでは少年非行防止のための問題行動の発見と適切な支援を重要としており、青パトについてはデメリットなどを考慮し導入検討には至っていない	・青パトを導入している自治体等を調査し検討する	・継続	福祉会館	
				決算額	千円	予算額	千円		

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課		
5 安全で安心して暮らせるまち	2 地域みんな で安全・安心な環境をつくるまち	(2)交通安全 対策の推進	①交通事故 を防止する環 境づくり	232 交通安全に 関する意識啓発	・全国の季節交通安全週間時の街頭指導 及び月1回の街頭指導等を実施 ・行政無線等により随時周知を図る	・状況に応じ必要な啓発活動を実施	・継続	環境経済課		
				決算額 千円		予算額 千円				
				233 子どもや高 齢者を対象とした 交通安全教室の 実施	・小中学校等に対し、交通安全教室等の実 施を依頼 ・高齢者に対しては、交通安全教室等を定 期的に実施	・警察と協働して「交通安全大学校」を開催	・継続	環境経済課		
				決算額 57 千円		予算額 83 千円				
				234 交通安全施 設の整備	・信号機、横断歩道等の設置要望に対し て、関係各機関と協議の上適切に対応し ている ・道路反射鏡、転落防止柵、区画線等の交 通安全施設の整備を実施	・継続して実施	・継続	環境経済課 建設課		
				決算額 10,956 千円		予算額 9,551 千円				
			②住民主体 の交通安全 活動の促進	235 交通安全活 動団体への支援	・交通安全協会3支部に対し、支部活動へ の支援として補助金を交付	・継続して実施	・継続	環境経済課		
				決算額 332 千円		予算額 345 千円				
				236警察等、関係 機関との連携強 化	・状況に応じて、警察等連携して安全活 動を実施	・継続して実施	・継続	環境経済課		
				決算額 千円		予算額 千円				

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
6 共に築き上げる協働と信頼のまち	1 住民と行政が力を合わせるまち	(1)住民参加によるまちづくりの推進	①広報の充実	237 誰もが読みやすい広報紙づくり	・広報紙の字は見やすく、行事の掲載には写真を貼付、適宜イラストなどを挿入 ・お役所言葉などの表記は使わず、誰もが読みやすい広報を目指す	・毎月号でマスコットキャラクターのイラストを一般募集 ・広報モニターに率直な意見を聞き、広報紙、無線放送、ホームページに積極的に取り入れていく	・継続	企画課
				238 速報性の高い町ホームページの充実	・ホームページをHTMLからCMSに変更し、デザイン、機能面の向上を図るとともに、ページの作成が容易になり、迅速に情報発信することが可能となった	・各ページのアクセス数を分析し、より分かりやすく見やすいページを作成していく必要がある	・継続	企画課
				239 地上デジタル放送・データ放送による地域情報の発信	・現在、NHK及びびぎふちゃん、シーシーエヌ(ケーブルテレビ)にて、町のイベント及び地域情報を発信	・継続して実施	・継続	企画課
				240 町政情報の積極的な公開	・広報紙及びホームページ、情報公開コーナー、防災行政無線放送等を活用 ・情報公開制度においては3件公開、2件部分公開、1件不存在でその旨公表	・継続して実施	・継続	総務課 企画課
				241 各種メディアへの町情報の積極的な発信	・町情報については、新聞社及びテレビ局など17社にニュースリリース及び翌月の行事予定を発信 ・議会情報についても新聞社5社に発信	・各担当課からのニュースリリース及び行事予定の提出の徹底 ・記者ヘタイムリーに情報提供をする	・メディアに、取材に来てもらえるような、目を引くリリースを各担当課で作成できるよう工夫する	企画課
				242 各種審議会や委員会等への参画機会の拡充および参画促進	・各種審議会等の委員として、住民のかたに参画していただいている	・継続して実施	・継続	総務課
				243 町政懇談会やアンケート調査等の継続的な実施	・町内会長会議や町政懇談会を実施	・継続して実施	・継続	総務課
				決算額	4,287 千円	5,059 千円		
				決算額	2,131 千円	303 千円		
				決算額	千円	千円		
決算額	千円	200 千円						
決算額	千円	千円						
決算額	千円	千円						
決算額	千円	千円						

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
6 共に築き上げる協働と信頼のまち	1 住民と行政が力を合わせるまち	(1)住民参加によるまちづくりの推進	②広聴の充実	244 政策決定過程におけるパブリックコメントやワークショップの実施	・パブリックコメント制度を導入した場合、手続きの対象とその効果を検討	・継続して実施	・継続	総務課
				決算額	千円	予算額	千円	
			③ともに考える機会づくり	245 行政と住民の双方向による意見交換・情報共有システムの構築	・住民主体で発見されたまちづくり課題を行政とともに考え、検討できる仕組みについて調査、研究を実施	・仕組みの構築について調査・研究を実施	・継続	企画課
				決算額	千円	予算額	千円	
			246 住民同士の交流機会広場の設置	・まちづくりの地域交流の拠点となる憩いの場やスポットなどを設置、提供するため情報収集を実施	・継続して実施	・継続	企画課	
				決算額	千円	予算額	千円	
	(2)気配り行政の推進	①職員意識の向上	247 親切で親身な対応に向けた職員意識の醸成	・市町村職員研修センター主催の研修や町独自の宿泊研修、さらには洋上研修などに積極的に参加	・継続して実施	・継続	総務課	
			決算額	千円	予算額	千円		
		248 行政施策の横断的な理解促進	・議会で焦点となった施策等(一般質問・質疑)について、各課業務の進捗状況を一覧にまとめ、全職員が情報共有できる体制をつくる	・継続して実施	・継続	総務課		
			決算額	千円	予算額	千円		
		249 職員研修を通じた人材育成の推進	・市町村職員研修センター主催の研修や町独自の宿泊研修、さらには洋上研修などに積極的に参加	・市町村実務研修性として岐阜県に派遣	・継続	総務課		
			決算額	1,566 千円	予算額	1,636 千円		
②効率的で柔軟な庁内体制の整備	250 住民ニーズを受け止め、すばやく対応する庁内連携体制の整備	・役場1階に住民窓口を集中させるなどの効率的な窓口体制の整備 ・意見箱や窓口等に寄せられた意見・要望・苦情に対する対応一覧を作成し、全職員で情報共有を図った	・継続して実施	・継続	総務課			
	決算額	千円	予算額	千円				

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
6 共に築き上げる協働と信頼のまち	1 住民と行政が力を合わせるまち	(2)気配り行政の推進	②効率的で柔軟な庁内体制の整備	251 専門性を高め、活かす職員配置の推進	・専門知識を高めるため、職員研修を実施 ・勤務評定や職員から配属先希望調査を行い、適材適所の人員配置を実施	・継続して実施	・継続	総務課
				決算額	千円	予算額	千円	
	2 広い視野を持って行財政運営に取り組みまち	(1)効果的な行政運営の推進	①満足度の高い行政サービスの提供	252 住民本位の住民サービスの向上	・「ふれあい意見箱」など、住民の意見や要望を受付ける広聴システムを構築 ・意見の検討結果等についてホームページにて公開	・継続して実施	・継続	企画課
				253 住民協働による行政の役割の見直し	・現在の事務事業を分析し、住民協働ができる事業の洗い出し	・継続して実施	・継続	企画課
				254 個人情報保護体制の強化	・個人情報保護審議会を実施 ・一部端末に追加でウイルス対策ソフトを導入し、セキュリティ面を強化 ・職員に情報セキュリティアンケートを実施し、意識向上を図った	・継続して実施	・継続	総務課 企画課
				決算額	357 千円	予算額	540 千円	
			②効率的・効果的な行政運営の推進	255 ICT(情報通信技術)等を活用した事務の効率化	・「総合行政システム」の改善項目の洗い出し、予算化を行った	・「総合行政システム」の改修 ・新しい情報機器、メディアの動向を随時研究・調査し、ICTを活用した業務の効率化を図る	・継続	企画課
				256 公民連携・民間委託等による事務の合理化	・民間委託等も視野に入れた、事務事業の合理化・効率化を実施	・継続して実施	・継続	総務課
				257 地方分権や地域課題に応じた行政機構や組織の見直しと定員管理の適正化	・定員適正化計画に基づく職員数の適正化の実施 ・採用時の年齢要件を30歳まで緩和し幅広い年齢層の職員を採用	・職員の定年延長、再任用制度、地方分権事務の対応を考慮し、組織機構を見直す必要がある	・継続	総務課
				決算額	千円	予算額	千円	

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
6 共に築き上げる協働と信頼のまち	2 広い視野を持って行財政運営に取り組みまち	(2)健全な財政運営の推進	①透明性の高い計画的な財政運営の推進	258 積極的な行財政情報の公開	・ホームページや広報等を通じて、町の全ての会計を連結させた財政状況を公開中	・継続して実施	・継続	企画課
				決算額	263 千円	予算額	263 千円	
			259 総合計画に基づく中長期財政計画の策定	・平成25年度から29年度までの5年間の第2次計画を策定	・第2次計画の進行管理の実施	・継続	企画課	
				決算額	千円	予算額	千円	
			②持続可能な財政運営の推進	260 財源の重点かつ効率的な予算配分の推進	・経常的な経費については、一層の経費削減を行ったうえで、必要な予算付けを実施 ・政策的な経費については、優先順位を付け予算配分を実施	・継続して実施	・継続	企画課
				決算額	千円	予算額	千円	
		261 国・県等の制度事業の効率的・計画的な活用	・国、県等の補助金に該当する事業がないか十分に精査したうえで活用している	・継続して実施	・継続	企画課		
			決算額	千円	予算額	千円		
		262 税や保険料の適正かつ公平な徴収と受益者負担の適正化	・滞納者への催告書等による納税納付の呼びかけを実施 ・滞納処分については資産調査、他市町への実態調査を行い、資産状況を把握した上で実施	・現年分についても早期に催告書等を通知 ・コンビニ収納等の導入を検討	・現年分についても早期に催告書等を通知 ・コンビニ収納等の導入に向けて調査、研究	税務課 収納管理課		
			決算額	千円	予算額	千円		
		(3)広域行政への対応	①交流の活性化	263 関係市町との人事交流事業の推進	・岐阜市との人事交流のほか、羽島郡広域連合、岐阜羽島衛生施設組合、羽島市へ職員派遣を実施	・継続して実施	・継続	総務課
				決算額	千円	予算額	千円	
264 住民活動における交流の促進	・松枝みなみ会館の施設運営や杉山邸の管理、運営を住民組織に委ね、住民間の交流を図る ・なごみ祭りや鮎鮎街道ウォークなどのイベント開催を支援			・町外者の来訪を増やすため、調査研究を実施	・交流拠点を活かしたイベント開催などを支援	企画課		
決算額	千円	予算額	千円					

笠松町第5次総合計画 実施計画

基本方向	政策	施策	主な取り組み	細目	平成24年度	平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	担当課
6 共に築き上げる協働と信頼のまち	2広い視野を持って行財政運営に取り組みまち	(3)広域行政への対応	②共同事業の推進	265 公共施設の相互利用の推進	・近隣に同じような目的で建設された施設は少なくないが、相互利用を進める仕組みについて調査、研究を実施する	・岐阜地域広域圏協議会等にて検討課題として提示	・継続	企画課
				決算額	千円	予算額	千円	
				266 住民サービスの拡充	・各種証明書の広域相互発行を実施 ・広域連携施策の把握について調査、研究を実施	・岐阜地域広域圏協議会等にて検討課題として提示	・継続	企画課
				決算額	千円	予算額	千円	
				267 福祉・保健や文化等、広域的な体制による施設の整備	・様々な広域施設や団体により行政事務を執り行っているが、その他に広域で担うべき事務事業について調査、研究を実施	・岐阜地域広域圏協議会等にて検討課題として提示	・継続	企画課
				決算額	千円	予算額	千円	